

若鷹

笑顔であいさつ日本一

福山市立鷹取中学校だより
2020年(令和2年)2月3日



“広島県教育奨励賞受賞”

このたび、令和元年度広島県教育奨励賞 をいただきました。この受賞は、『倫理的思考を育成するために、ルーブリック評価、思考スキル・思考ツールの活用等を学習過程に位置付けた「鷹取中学校授業スタイル」を作成し、生徒が一人でも学びを深められるようにしていること。また、英語科において、教科書の内容を、リスニングや音読、リテイング等の活動ごとに5回以上繰り返して学習する方法(5ラウンドシステム)を通して、生徒に自分の考えや気持ち、事実などを英語で表現する力の育成を図っていること。』が評価され、1月31日(金)に広島県庁で表彰式がありました。教職員の取組と生徒の頑張り、そして本校の教育活動を支えていただいている保護者・地域の皆さまのおかげです。ありがとうございました。学校では、この賞を「まだまだこれから取組を進めて欲しい」という、ある意味「激励の賞」であると受け止め、さらに努力をしてまいりたいと考えています。保護者・地域の皆さま、今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

努力賞

- (1-1) 木村 日咲 液状化現象について!
- (1-2) 仲橋 蒼翔 豆腐の浮き沈みについて
- (1-2) 本沖 奈々 じゃがいもパワー
- (1-3) 島村 倅聖 ビタミンCをチェックしよう!
- (2-2) 上谷 春華 紫キャベツで指示薬を作ろう!
- (2-3) 竹ノ内裕充 部屋をはやく冷やすには
- (2-3) 尾藤 鈴夏 暑さ対策に合う色は何色?
- (3-1) 木村 日香 DNAの整形!?
- (3-2) 小林 永奈 野菜・果実のDNAを抽出しよう

“私の折々のことばコンテスト”入賞

「私の折々のことばコンテスト」は、朝日新聞社が主催するあなた自身の心に響いた「ことば」を探し、その思いを書くことで、自分にとって大切なものは何かに気付く、そんなきっかけを願うコンテストです。このコンテストで12Rの豊嶋莉奈さんの作品が、24,998点の中から佳作に選ばれたので紹介します。

言葉には「葉」という文字が使われているのよ。
葉は一度おちると元にもどれない。
言葉も同じ。一度発したらその言葉はとりけせない。
自分の発言に責任をもちなさい。

ひいおばあちゃんの言葉

これは今から四年位前の出来事。ひいおばあちゃんの家遊びに行ったとき、私は妹と言いあらそいをしてしまった。「バカ」とか「大きい」とか、そんなひどい言葉をぶつけていると、ひいおばあちゃんがこの言葉を教えてくれた。
私はひいおばあちゃんにおこられてしまったけど、おこられてしょんぼりなどしなかった。それどころか、気持ちがすうつと軽くなっていった。
この言葉をきいてから、私は「言葉使い」に気がつくことができます。
……きつとこの言葉は、私の人生の中でずっと心になる、大切な言葉となるでしょう。



“第63回広島県科学賞入賞”

夏休みに取り組んだ理科の科学作品を出品したところ、次の10名の作品が賞に入ったので紹介します。
入選

- (2-1) 矢富 綾乃 植物を効率よく成長させるには?

生徒の皆さんにも同じような経験があるのではないのでしょうか。何げないひと言が、人の心に火を灯すことがあります。また、何げないひと言が、人の心を傷つけることもあります。皆さんにも、誰かの温かいひと言によってうれしくなった経験、あるいは自分で発した言葉が気まずい状況を生んでしまい、“あんなこと、言わなければよかった”と後悔した経験などがあるのではないのでしょうか。日々、さまざまな場面で発する言葉を、今一度よく考えてみましょう。